

2021年度 寄付講座一覧

科目名	期	単位	週時間	受講年次	担当者	科目概要
-----	---	----	-----	------	-----	------

経法商学科

1	特殊講義 沖縄労働論(オムニバス)	前	2	2	2・3・4	連合沖縄会長ほか	本講座は、連合沖縄の講師招聘協力を得た寄付講座である。今日の労働者は厳しい状況に取り巻かれている。いわゆる「ブラック企業問題」、また大学生を中心にいわゆる「ブラック・アルバイト問題」などはその象徴となり、「働くこと」についてネガティブなイメージを生じさせている。このような社会的状況に対して、若者や沖縄で日々を暮らしている人々は、そこで生じた問題や悩みをどこに相談し、どのように解決の道を探ればよいのかも分からないままに過ごしていることが多い。また、「子どもの貧困問題」はそうした働く者の権利意識の欠如や労働政策の不備とともに、経営サイドの責任もまた重いものがある。本講座では、①働くことは何か、②職場ではどのように仕事が行われているのか、③そうした職場で生じた悩みやトラブルはどのように解決が図られるのか、④その中で労働組合のネットワークはどのような役割を果たしているのかという視点を提供するとともに、労働組合を通じた職場見学を行う。
2	特殊講義 ワーカーズコープ論	集中	2	2	1・2・3・4	日本労働者協同組合	働くとはどういうことだろうか。いま雇われないで協同労働の働き方をしている協同組合事業者は世界最大規模の組織を誇っている。19世紀からヨーロッパを中心に本格化したこの法律や制度は世界的に定着化したといえる。沖縄にも「ゆいまーる」の土壌があるように、協同社会、協同労働とは人類史的な意味あいだった。「雇われ者根性」で仕事をしないということは、働く者が一人一票制の権利を駆使して、出資するだけでなく経営にも参画すること。たとえば芸術化集団による協同組合であっても、芸術労働のみならず各人は出資事業者の立場から経営に主体的にタッチしている。本講義は沖縄のローカル事例から学び、各自が創造した実装化アクションプランづくりも手がける。

国際コミュニケーション学科

3	旅行業務演習	前	2	2	2・3・4	(株)ジャンボツアーズ	これからの旅行業における人材にとって必要とされる知識と技術を学び、着地型観光の商品企画に向けた実践的なフィールドワークとグループワークを行う。その成果として、実際に観光施設や観光協会等に対してプレゼンテーションを行い、旅行業に必要な企画力の習得に繋げる。
4	観光セミナー	後	2	2	2・3・4	(株)ジャンボツアーズ	前期に開講されている「旅行業務演習」では、主にインバウンド商品を造成するための基本的なスキルとして、企画立案のための理論や方法論を学び、実際にグループワークで県内観光地のインバウンド企画を立案し、観光地の事業者や観光協会等に直接プレゼンテーションを行う。 前述の「旅行業務演習」を踏まえ、後期の観光セミナーではさらに一歩踏み出した、再びグループワークで県内外の観光地に赴き、企画から計画、さらに実際に商品造成やイベントの実施に至るまで実践的な学習を行いたいと考えている。旅行代理店やホテル等の観光産業、そして、マスメディアや広告代理店等のサービス産業への就職につなげていく。
5	メディア広報・宣伝実践入門	前	2	2	2・3・4	島田勝也 BRクラウド(株)	企業の広報宣伝計画やプロモーション計画を実践的に学ぶ講義である。特にメディアについての理解を深める機会を提供する。学生の興味・関心や理解度に応じて内容を調整することもあるが、概ね授業計画に示した内容で進めていく。毎回プリントを配布し講義形式を基本としながらグループワークやプレゼンテーションによる双方向のコミュニケーションを重視した授業にしていく。5回程度はメディアに関わる分野の専門家をゲストとして招く予定にしている。
6	観光サービス実践入門	後	2	2	2・3・4	島田勝也 沖縄ワタベハウジング(株)	【沖縄県の観光産業の基本が学べる講座】 この講義は県内観光業界の協力により、沖縄県の観光マーケットに関する市場調査や商品開発や広報宣伝プロモーションを実践的に学べる授業である。約5回程度は観光や情報に関わる分野の専門家をゲストとして招く予定にしている。学生の興味・関心や理解度に応じて内容を調整することもあるが、概ね授業計画に示した内容で進めていく。毎回プリントを配布しプリントに添って講義形式で進める。

その他 寄附講座ではなく、寄附金をもって講義を運営するもの

7	沖縄大学論(オムニバス)	後	2	2	1・2・3・4	学長・他	沖縄大学は、沖縄で最も古い私立大学である。教育の機会均等をめざし、実業家の嘉数昇先生によって創設された。 前半は、敗戦後の米軍統治下における沖縄大学の創設と、その後の復帰運動と、大学存続への厳しい状況をふり返る。後半は、卒業生による講話を踏まえ、学生時代の過ごし方やこれからの沖縄大学のあり方について考える。 なお、本講義は、沖縄大学論の趣旨に賛同された尚学学園の寄附講座として運営されている。
---	--------------	---	---	---	---------	------	---